

# チュヴァシ語における数量詞遊離とその周辺

菱山 湧人  
(新潟大学)

## 0. はじめに

チュヴァシ語（チュルク諸語オグル語群）には (1, 2) のように、名詞句（下線のみで示す）にその数量とカテゴリーを示す数量詞句（下線と太字で示す）が後続する文が見られる。このような文で、数量詞句は遊離しているのだろうか。

- (1) *měnpur tītām-r-i xusalāx-senče kavāk+kěšək*  
all structure-LOC-ADJLZ farm-PL.LOC birds(collective)  
**26,9 pin puś tīt-aśšě**  
26.9 thousand head hold-PRS.3PL

「全形態の飼育場で家禽を **2万6900羽**、飼っている。」

(<https://putpobedy.ru/images/2022/04.pdf>)

- (2) *čily šul-a šit-n-i-sem pěr vună šin pur*  
considerable year-DAT/ACC reach-PTCP-NMLZ-PL one ten person there.is  
「かなりの年齢に達した人たちが約10人いる。」

(Čävaš čelxi korpusě)

(1) の数量詞句については、*puś*「頭」が数量詞を伴って名詞を修飾する助数詞的用法を持つことから（例：*pin puś surāx*「1000頭の羊」）、遊離数量詞句であるといえる。一方、(2) の数量詞句については、*šin*「人」が助数詞的用法を持たないことから遊離数量詞句ではないものの（例：*\*vună šin student*「(意図した意味) 10人の学生」）、副詞句として機能しうる点では数量詞+助数詞に類似しているといえる。

本発表の構成は次の通りである。まず第1節で先行研究の記述をまとめ、問題提起を行う。次に第2節で例文を挙げ、分析を行う。最後に第3節で考察を行い、今後の課題を挙げる。なお、非日本語文献の翻訳、ラテン文字転写<sup>1</sup>、例文番号、グロス、文字飾り、表は特にことわりのない限り発表者による。

## 1. 背景知識

チュヴァシ語における数量詞句の統語的振る舞いについて考察した先行研究は管見の限りでは見当たらない。本節ではまず背景知識として、チュヴァシ語における数量詞と助数詞を概観し、次に同じくチュルク諸語に属するトルコ語（南西語群）、ウイグル語（南東語群）、キルギス語（北西語群）における数量詞遊離について考察した栗林 (2018) の記述をまとめる。

<sup>1</sup> 例文中の、ロシア語の音韻体系に従って発音される比較的新しいロシア語からの借用語のラテン文字転写は Timberlake (2004: 25) にある linguistic 方式に従う。

### 1.1. チュヴァシ語における数量詞と助数詞

チュヴァシ語の数量詞には数詞のほか、*numay*「多い」、*saxal*「少ない」のような形容詞、*pur*「すべての」、*temise*「いくつかの」のような代名詞が含まれる。数量詞は名詞の前に置かれる(例：*numay sin*「多くの人」)。数量詞句(数量詞+名詞)は名詞句であるが、(1, 2)における数量詞句は副詞句として機能しているように見える。副詞句として機能するのは、数量詞+助数詞の特徴である。

チュヴァシ語には文法的な助数詞は存在しないものの(例えば、「二人の娘」や「三本のペン」はそれぞれ *ikě xěr* [二 娘]、*višě kalem* [三 ペン] のように表される)、いくつかの名詞が助数詞的に用いられる。チュヴァシ語・ロシア語辞書 Andreev, Gorškov, Ivanov et al. (1985) には、助数詞的に用いられる名詞として *kāk, kut*「根」(例：*vnūā kāk pomidor*「10個のトマト」、*allā kut ulmušši*「50本のリンゴの木」)、*lav*「荷車」(例：*šēr lav tislěk*「100台の肥し」、*puš*「頭」(例：*pēr puš suxan*「ひと玉の玉ねぎ」)、*tētēm*「戸」(例なし)、*čun*「心」(例：*Sirěn vil'āx miše čun?*「あなたの家畜は何頭ですか?」)が挙げられている。本発表で扱う *sin*「人」はそのような名詞としては挙げられておらず、実際この名詞は助数詞的用法を持たない(例：*\*ikě sin student*「(意図した意味)二人の学生」)。

### 1.2. 他のチュルク諸語における数量詞遊離

栗林 (2018) は、トルコ語では一般的に数量詞遊離は認められないとしつつも、頻度助数詞を含む場合には遊離が起こりうるとしている (3)。しかし栗林自身が指摘しているように、頻度数量詞句が名詞に前置される場合、それは名詞を修飾しているのではなく副詞句として機能しているとも分析できる (3)b。また、頻度を表す数量詞句は名詞と互いに参照していない(数量詞句が、名詞の数とカテゴリーを表していない) (岩田 2013:3, 栗林 2018:311)。この点で頻度助数詞は他の助数詞と区別される。本発表では頻度助数詞や、同じく他の助数詞と区別される計量単位(メートル、キロなど)は扱わない。

(3) a. *zil-i on kez çal-dır-di-m*  
bell-ACC ten times ring-CAUS-PST-1SG  
「私はベルを 10 回鳴らせた。」

b. *on kez zil-i çal-dır-di-m*  
ten times bell-ACC ring-CAUS-PST-1SG  
「私は 10 回、ベルを鳴らせた。」「私は 10 回のベルを鳴らせた。」

(栗林 2018: 312)

栗林 (2018: 314-316) によると、ウイグル語とキルギス語では名詞と互いに参照している数量詞句の遊離も見られる。挙げられている例はいずれも目的語から遊離した例である。以下にウイグル語の例を挙げる。

(4) *aspirin-ni xatališip ikki danā ič-ti-m*  
aspirin-ACC mistakenly two piece drink-PST-1SG  
「私はアスピリンを間違って二錠飲みました。」

(栗林 2018: 316)

## 2. 例文

本節では、副詞的に機能する数量詞句を持つ例文を、主要部名詞が助数詞的用法を持つものと持たないものに分けて挙げる。

### 主要部名詞が助数詞的用法を持つ数量詞句

1.1 節で挙げた 6 つの名詞といくつかの数量詞の組み合わせを Google で完全一致検索したところ、数詞+*puś*「頭」を含む例のみ 2 例見つかった ((1) と以下の (5))。

(5) *unsār puśne talāk-r-i xur čěpp-i-sene purě*  
that.ABE except day-LOC-ADJLZ goose chick-3.POSS-DAT.ACC in.total  
*ikě pin puś Kazaxstan-a āsat-nā*  
two thousand head Kazakhstan-DAT.ACC send-PRF

「それ以外に、生後 1 日のガチョウの雛を合計 **2 千羽**カザフスタンに送った。」

(<https://chuvash.org/news/33330.html>)

この例では、先行する名詞句が複数形になっていることが注目される。なぜなら、数量詞句に後続する場合、名詞句は単数形になるからである (例: *ikě pin puś xur čěppi* 「2 千羽のガチョウの雛」)。

### 主要部名詞が助数詞的用法を持たない数量詞句

菱山 (2024) で行った数量詞句に関するコーパス調査<sup>2</sup>から、*śin*「人」を主要部とする数量詞句が副詞的に機能している文が (2) を含めて 9 例収集された。

数詞のみを含む例は (2, 6) を含め 5 例であった。

(6) *unta graf Potocki konvoj-ě-nč-i-sem*  
there earl PN convoy-3.POSS-LOC-NMLZ-PL  
*śirěm višě śin śivār-aśšě*  
twenty three person sleep-PRS.3PL

「そこにはポトツキー伯爵の護送船団の者たちが **23 人**寝ている。」

代名詞 *temiše*「いくつかの」を含む例は (7, 8) など 4 例であった。(8) では、複数形の名詞句と、その人数を表わす数量詞+*śin*「人」の位置が通常の語順から入れ替わっている。

(7) *Xan'Lao Lju-na vārttān pulāš-akan-sem*  
PN-DAT/ACC secretly help-PTCP-PL  
*puxāv-a temiše śin kě-ně+kě-n=ex*  
meeting-DAT/ACC a.few person enter-PRF+enter-PRF=EMPH

「ハンラオリュウを秘密裏に支援している者たちが会合に**数人**侵入した。」

<sup>2</sup> 使用コーパスは Čavaš čělxi korpusě [チュヴァシ語コーパス] である。調査方法については菱山 (2024: 31) を参照。

(8) *pirten temíse šin timěr čelx-i pěl-eken-sem pur*  
 1PL.ABL a.few person iron tongue-3.POSS know-PTCP-PL there.is  
 「私たちのうち数人、鉄の言語が分かる人たちがいる。」

### 3. 考察と今後の課題

表 1 に、数量詞＋助数詞、数量詞＋*pus* 「頭」、数量詞＋*šin* 「人」、数量詞＋通常の名詞の統語的機能をまとめる。

表 1：数量詞句の統語的機能

	+助数詞	+ <i>pus</i> 「頭」	+ <i>šin</i> 「人」	+名詞
名詞句	○	○	○	○
名詞修飾	○	○	×	×
副詞句	○	○	○	×

以下、副詞的に機能する数量詞句を持つ例文について、主要部名詞が助数詞的用法を持つものと持たないものに分けて考察する。

#### 主要部名詞が助数詞的用法を持つ数量詞句

助数詞的に用いられて名詞を修飾しているものを基底と考えれば、副詞的に機能しているものは遊離した数量詞句であるといえる。ただし、数量詞遊離はチュヴァシ語で広くみられる現象ではないことが示唆される。なぜなら、助数詞的に用いられる名詞自体が少なく、中でも遊離した例は今回の調査で 2 例 (1, 5) しか抽出できなかつたからである。なお、この 2 例ではいずれの数量詞句も数詞を含み、互いに参照する他動詞目的語から遊離している。チュヴァシ語における数量詞遊離の特徴について考察するには、さらに多くの例が必要である。

#### 主要部名詞が助数詞的用法を持たない数量詞句

数量詞＋*šin* 「人」については、*šin* 「人」が助数詞的用法（数量詞を伴って名詞を修飾する用法）を持たないことから遊離数量詞句ではないものの、副詞句として機能しうる点で数量詞＋助数詞に類似しているといえる。(8) のように文頭にも生じうる点は、数量詞＋*šin* 「人」が副詞句として機能していることを示している。抽出された 9 例すべてで、数量詞＋*šin* 「人」は主語名詞句と互いに参照している。

今後の主な課題として、*šin* 「人」以外の名詞で類似の振る舞いを示すものがあるかどうかや、類似の例が他のチュルク諸語や周辺言語にも見られるかどうかについて調査することが挙げられる。

## 謝辞

本研究は JSPS 科研費（研究課題 23KJ1014）の助成を受けている。

## 略号一覧

1, 2, 3		1, 2, 3 人称	NEG	negative	否定
ABE	abessive	欠如	NMLZ	nominalizer	名詞化
ABL	ablative	奪格	PL	plural	複数
ACC	accusative	対格	PN	person name	人名
ADD	additive	累加	POSS	possessive	所有
ADJLZ	adjectivalizer	形容詞化	PRF	perfect	完了
CAUS	causative	使役	PRS	present	現在
DAT	dative	与格	PST	past	過去
EMPH	emphasis	強調	PTCP	participle	形動詞
FUT	future	未来	REF	reflexive	再帰
ILL	illative	入格	SG	singular	単数
INE	inessive	内格	-		接辞境界
LOC	locative	位格	=		接語境界

## 参考文献

- Andreev, I. A., A. E. Gorškov, A. I. Ivanov et al. (1985) *Čuvaško-russkij slovar'*. Moskva: Russkij jazyk.  
菱山湧人 (2024) 「チュヴァシ語における数量詞句と定形動詞の一致」『日本語学会第 167 回大会予稿集』29-35.  
岩田一成 (2013) 『日本語数量詞の諸相：数量詞は数を表すコトバか』くろしお出版。  
栗林裕 (2018) 「トルコ語の数量詞遊離について」『ユーラシア諸言語の多様性と動態－20 号記念号－』307-320.  
Timberlake, A. (2004) *A reference grammar of Russian*. Cambridge: Cambridge University Press.

## 調査資料

- Arkhangelskiy, T. (2019) *Meadow Mari Corpora*. (<http://meadow-mari.web-corpora.net>) [最終閲覧日: 2024/11/21]  
Čävaš čelxi laboratoriyë et al. (2016–2023) *Čävaš čelxi korpusë* [チュヴァシ語コーパス]. (<http://corpus.chv.su/>) [最終閲覧日: 2024/11/21]  
Saykhunov, M. R., R. R. Khusainov, T. I. Ibragimov, J. Luutonen, I. F. Salimzyanov, G. Y. Shaydullina, and A. M. Khusainova (2012–2024) *Corpus of Written Tatar*. ([http://www.corpus.tatar/index\\_tt.php?of=main\\_tt.htm#top](http://www.corpus.tatar/index_tt.php?of=main_tt.htm#top)) [最終閲覧日: 2024/11/21]  
Tašnej T. (2022.11.1) *Kitaya čäx uri äsanat'* [中国に鶏の足が輸出される]. Čävaš xaläx sayčë. (<https://chuvash.org/news/33330.html>) [最終閲覧日: 2024/11/21]  
Tolstova, E. (2022.7.13) *Čäxxi-čëppi, samär kävakal...* [鶏とひよこ、太ったアヒル…]. Yalti biznes. (<https://putpobedy.ru/images/2022/04.pdf>) [最終閲覧日: 2024/11/21]